

2021年度 第1回理容科教育課程編成委員会議事録

1 開催日時 2022年3月28日（月）9：30～11：00

2 開催場所 埼玉県理容美容専門学校 浦和校舎 2階 ホール

3 出席者（7名）

	氏名	所属
1	石井 孝之	埼玉県理容生活衛生同業組合 常任理事
2	福島 正尚	埼玉県理容生活衛生同業組合 本部講師会 幹事長
3	若月 良仁	埼玉県理容生活衛生同業組合 本部講師会 幹事
4	高野 春夫	埼玉県理容美容専門学校 校長
5	増村 信雄	埼玉県理容美容専門学校 副校長
6	千住 義祐	埼玉県理容美容専門学校 企画広報課長
7	松本 朋子	埼玉県理容美容専門学校 理容科長

4 欠席者（1名）

1	吉野 昇邦	埼玉県理容生活衛生同業組合 常任理事
---	-------	--------------------

5 議事

（高野校長） 開会の挨拶

（司会：千住課長）新型コロナウイルス感染症対策及びまん延防止等重点措置により、9月開催予定について。本日実施し、午後に予定の2回目を開催する旨、説明。また本委員会の記録をホームページにて公開する旨委員に了承を得る。続いて委員の紹介。

職業実践専門課程及び教育課程編成委員会について、資料に基づき説明。

（松本科長） 理容科1年生 2021年度報告

本年度の教育については、1年生では「お客様」を意識して行動することを主軸にあいさつやマナー等を指導した。

理容科2年生 2021年度報告

コロナ対策として消毒の徹底や体調管理を行うとともに、分散登校やWeb授業を展開した。就職後、即戦力として社会に出る自分の姿をイメージできるようサロンワークを行った。国家試験対策として、学科の小テストを随時行った。

（千住課長） 各学年の報告を受けて、また実践的な授業実施に向けて委員の先生方のご意見をお願いします。

- (若月委員) 卒業生講話を例年実施されているが、学生に社会人のリアルな声を届ける機会になっており、ぜひ今後も続けていただきたい。就職先選定の理由等、入社後のギャップが埋まればと思う。昨今は、ほとんどが理美容業ではない家庭からの入学生であり、現実の仕事の大変さや将来店舗を営することも視野に入れた活動になればよい。
- (石井委員) サロンワークはシャンプー中心となるが、1つ1つの動きができることで、様々なサロンで対応することができる。マッサージやヘッドスパ等、就職先によっては使わないかもしれないが、後に役立つ場合もあり、サロンワークやテクニカの授業で様々な技術に触れることは大切である。
- (福島委員) 理美容業は接客業であり、お客様とのコミュニケーションは欠かせない。笑顔、あいさつ、話を素直に聞く姿勢も重要で、一つ一つきちんと受け答えができるよう、学校生活の中で日頃からの意識付けができるとうい。
- (増村副校長) 専門学校教育として、技術に関する実習とともに、日常生活から社会人としての規範や行動を意識して取り組む姿勢が望ましい。
- (高野校長) 変わりゆく社会の中で、教育、生きる力を身につけることをどう捉えていくか問われている。本日委員の皆様よりいただいた貴重なご意見を今後の教育課程編成に反映させていきたい。
- (増村副校長) 閉会の挨拶